

2022年1月27日

各 位

会社名 株式会社ドラフト  
 代表者名 代表取締役社長 山下 泰樹  
 (コード番号 5070 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役 荒浪 昌彦  
 (TEL 03-5412-1001)

業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年5月12日に公表いたしました2021年12月期通期（2021年1月1日～2021年12月31日）の連結業績予想及び2021年8月12日に公表いたしました配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 連結業績予想の修正について

2021年12月期通期業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 8,300	百万円 700	百万円 680	百万円 440	円 銭 47.56
今回修正予想（B）	8,032	950	945	570	61.38
増減額（B-A）	△268	250	265	130	
増減率（%）	△3.2	35.7	39.0	29.5	

(注) 1. 前期は9ヶ月の変則決算期（2020年4月1日～2020年12月31日）であったため、前期実績は記載していません。

2. 当社は、2021年12月21日を払込期日とする募集による新株式発行を実施し、発行済株式総数が591,400株増加しております。また、2021年12月28日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、発行済株式総数が208,600株増加しております。修正後の業績予想の1株当たり当期純利益の計算においては、これらに伴い増加した発行済株式数を考慮して算定しております。

(修正の理由)

新型コロナウイルス感染症拡大（以下、「コロナ禍」）の影響が長引く環境下、高いデザイン性・企画力を有する当社グループのデザイン事業への需要は引き続き堅調であり、事業は順調に推移いたしました。2021年12月期（通期）の売上高は、クライアント都合により一部プロジェクトで期ずれが発生したため、上方修正を行った前回発表予想をやや下回る見通しとなったものの、当初予想（8,000百万円）どおりの着地となる見込みです。

利益については、利益率の高いデザイン・設計単独プロジェクト及び特命案件の増加、さらには大型案件を計上したことにより売上総利益が計画を大幅に上回る一方で、コロナ禍で活動費が抑制されたこと等により販管費及び一般管理費については計画を下回る見通しとなりました。

これらの要因により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はともに前回発表予想を大幅に上回る見通しとなりました。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前予想 (2021年8月12日公表)		4.50	4.50
今回修正予想		5.00	5.00
当期実績	0.00		
※ご参考 前期実績 (2020年12月期)	0.00	4.00	4.00

(修正の理由)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要政策の一つと位置付けており、利益配分につきましては、「積極的な将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結当期純利益に対する配当性向 20%を目標とした配当（中間配当・期末配当）を目指す」こととしております。

2021年12月期の配当予想につきましては、2021年12月期通期業績予想の上方修正を考慮し、1株当たりの期末配当予想を5.00円に修正いたします。

(注) 上記に記載した業績予想数値等は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績等は業況の変化等により、上記の予想数値と異なる可能性があります。

以 上